

令和5年度の業務実績の概要について

(公立大学法人青森県立保健大学)

令和5年度においては、「年度計画を上回って実施している」S評価又は「年度計画を十分に実施している」A評価が86項目(100%)であり、全体的な状況としては順調に計画を実施することができたと自己評価している。

| 大項目 | 小項目の自己評価結果 | | 「S」と判断した業務実績の内容 |
|---|------------|----|---|
| 1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(教育) | S | 7 | <p>・「No.3 学生募集方策の検討及び実施」 ①学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への積極的な広報の推進(小項目No.6) <16ページ> 計画に基づいて、学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への積極的に広報を推進することができ、小項目No.7の取組も有効であったと推察した。以上、定員以上かつ多様な背景をもつ入学生を獲得することができたことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.7 専門教育」 ②理学療法学科(小項目No.15) <22ページ> 理学療法学科においては、計画に基づいて、十分に実施したことに加え、本学大学院に進んだ者が5人だったこと、指定規則に応じた第5-2次カリキュラムにおいて、新しい試みである学内スーパーバイザー制度を確立し、円滑な臨床実習教育を遂行することができたこと、それらが評価されて、リハビリテーション教育評価機構の総合評価がSと高評価だったことを加味し、自己評価をSとした。</p> <p>③社会福祉学科(小項目No.16) <23ページ> 社会福祉学科においては、計画を十分に実施したことに加え、社会福祉士の国家試験合格率は93.9%と過去最高の合格率、精神保健福祉士の国家試験合格率は92.3%と、極めて高い成果を上げたことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.9 大学院生の教育と研究推進(博士前期課程)」 ②研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進(小項目No.20) <26ページ> 計画に基づいて意識づけを行い、研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進をし、学会発表件数は目標としていた数値を上回ったことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.9 大学院生の教育と研究推進(博士前期課程)」 ③研究成果の地域社会への還元(小項目No.21) <27ページ> 計画に基づいて意識づけを行い、研究成果の地域社会への還元件数は目標とする数値を大きく超えたことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.10 大学院生の教育と研究推進(博士後期課程)」 ③研究成果の地域社会への還元(小項目No.25) <29ページ> 計画に基づいて、様々な機会地域社会への成果還元の意識を高め、研究成果の地域社会への還元の意義付けを行ってきた結果、博士後期課程の還元件数は、過去4年間で最も多く、さらに特筆できる事例が多かった。これらのことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.15 学生生活支援」 ③学生の健康管理・相談窓口体制の充実に向けた取り組みの検討及び継続実施(小項目No.37) <36ページ> 計画に基づいて、学生の心身の健康管理・相談窓口体制の充実、障害学生支援等の取り組みを継続実施することができた。なかでも障害学生支援においては具体的に改善状況がみられたことと、卒後の進路選択に係る支援提供まで実施することができていたことから、S評価とした。</p> |
| | A | 35 | |
| | 計 | 42 | |
| | | | |
| 2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(研究) | S | 0 | |
| | A | 5 | |
| | 計 | 5 | |
| 3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(地域貢献) | S | 1 | <p>・「No.24 地域に必要な人材輩出」 ①若者の県内での活躍・定着を推進する事業(小項目No.54) <50ページ> 計画どおり事業を実施し、県内就職率が目標以上の数値を維持したことは「A評価」に値する。特に県内では、看護師の離職が多く、採用が困難な状況にありながらも、各病院が採用活動を独自に、閉鎖的に進めることが多く、相互連携や協力はほとんど無い。このような問題を解決すべく、本学の発案と運営のもとで、各病院の参加者のグループディスカッションを含む「新卒看護職の採用力向上セミナー」をタイムリーに実施できた。このような本県では革新的な取組の成果が、具体的な採用実績として現れるのは次年度以降になると推察されるが、参加病院からのアンケートでは、総じて満足度が高く、「これまでに無い情報や発想を得て、具体的な改善方案につながる」といった回答もあり、本県が抱える看護師採用に向けて構造的な課題の解決につながると考え、自己評価をSとした。</p> |
| | A | 10 | |
| | 計 | 11 | |
| 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 | S | 1 | <p>・「No.30 事務の整理及び組織・業務の検証」 ②情報化の推進やアウトソーシングの検討(小項目No.68) <57ページ> 計画に基づいて、情報化の推進を継続的に行ったことに加え、年代とともに失われる恐れのある過去の貴重なデータを体系的に整理・保存したことから自己評価をSとした。</p> |
| | A | 10 | |
| | 計 | 11 | |
| 5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 | S | 0 | |
| | A | 6 | |
| | 計 | 6 | |
| 6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 | S | 1 | <p>・「No.37 情報公開・広報推進」 ①情報公開の推進(小項目No.79) <63ページ> 社会への説明が必要な内容を適時にホームページに掲載することができた。広報計画の適切な立案と教職員への周知、広報への学生の参与をもとに多側面から情報公開を推進することができ、受験生のインスタへのアクセスが前年度の約2倍に及んだ。安全にインスタ・Youtubeへの情報公開ができる仕組みづくりをして効果的な運用ができた。学生の積極的な協力を得て大学の情報を多面的に公開したこと、情報発信の安全性を高めたこと、特に受験生へ伝えたい情報を伝達して成果も見られたことから、自己評価をSとした。</p> |
| | A | 5 | |
| | 計 | 6 | |
| 7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 | S | 0 | |
| | A | 6 | |
| | 計 | 6 | |

第三期中期目標期間終了時に見込まれる中期目標期間における業務実績の概要について (公立大学法人青森県立保健大学)

「中期計画を上回って実施している」S評価又は「中期計画を十分に実施している」A評価が41項目(100%)であり、全体的な状況としては順調に計画を実施することができたと自己評価している。

| 大項目 | 小項目の自己評価結果 | 「S」と判断した業務実績の内容 |
|---|------------|-----------------|
| 1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標(教育) | S | 6 |
| | A | 10 |
| | 計 | 16 |
| | | |
| 2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標(研究) | S | 0 |
| | A | 3 |
| | 計 | 3 |
| 3 大学の教育研究等の質の向上に関する目標(地域貢献) | S | 1 |
| | A | 4 |
| | 計 | 5 |
| 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標 | S | 1 |
| | A | 5 |
| | 計 | 6 |
| 5 財務内容の改善に関する目標 | S | 0 |
| | A | 4 |
| | 計 | 4 |
| 6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標 | S | 3 |
| | A | 0 |
| | 計 | 3 |
| 7 その他業務運営に関する重要目標 | S | 0 |
| | A | 4 |
| | 計 | 4 |